



かがやけ！王子っ子



㊦んがえる子 ㊦んばる子 ㊦さしい子 ㊦んこうな子

東京都北区立王子小学校

校長 戸倉 務

令和5年3月1日

◆来校の際には、必ず、ネームプレートを着用し、受付をお通りください◆

自分で未来を切り拓き、力強く歩む人に～卒業生に贈る言葉

校長 戸倉 務

2045年にはコンピュータの能力が人間を超え、技術開発と進化の主役は人間からコンピュータに移るとも言われる。

そのとき君たちは、どんな世界に生きているのだろうか。小学校卒業から二十年たてば三十代。今の両親の世代とほぼ同じになっているはずだ。

- 「カーボン0（ゼロ）」は達成済み。
- 自動車の完全無人運転が実用化。
- 紙幣・貨幣は消えて「財布」は不要に。
- 学校週五日制は週三日制に移行。

冗談ではなく、本当にそんな時代が来るのでは、と予想している。

その頃社会の中心で役割を果たす君たちは、子供の頃、夏はクーラーという機械に頼りっぱなしだったこと、自動車は運転する人を必要としたこと、小学校には週に五・六回通っていたことなどについて、若者を前に懐かしげに語っていることだろう。

しかし、時は流れても変わるものばかりではない。変わらないものもある。その中から、人は本当に価値のあるものや大切にしたいものを探し出す。ただし、いつ出会うのかは分からない。これだ、と気付くまでに長い時間がかかる場合もある。人生を旅に例えることが多いのは、そのせいかもしれない。

君たちの旅路は、ほんの少し前に始まったばかりだ。これから先が相当長いと思われる。どんなときも、王子小の卒業生であることを誇りに、自分で未来を切り拓き、力強く歩んで欲しい。

保護者・地域の皆様、1年間の教育活動へのご協力をありがとうございました。

およそ3年のコロナ禍に、収束の道筋が見えてきたようですが、まだ安心はできません。

4月からも安全に留意して、迅速で丁寧、組織的な教育活動を進め、児童が確かな学力と自他を大切にできる心を身に付けるよう、指導を進めます。

令和5年度も、引き続きご協力のほど、よろしく申し上げます。

6年生

6年：学年主任 上條 有香吏

2月20日（月）21日（火）24日（金）となかよし班活動が行われました。5年生が、6年生とのお別れ遊びを計画してくれました。各学年から、始めの言葉やお礼の言葉が伝えられました。5年生からは、6年生が、なかよし班活動をするために、「こんなに大変な思いをしていたことを知った」「6年生のように下級生が楽しめる遊びを考えていきたい」「バトンを引き継ぎ、4月から頑張りたい」という思いを発表してくれました。6年生も、在校生に対して感想やエールを伝えていました。この一年、下級生が楽しめるように遊びを考え、取り組んできたことが引き継がれていました。楽しく遊び、とても素敵な会になりました。

3月からは、いよいよ卒業式の練習が本格的に始まり、卒業への雰囲気になっていきます。

今の仲間と過ごす時間を大事にしながら、6年間の集大成として素敵な卒業式を迎えてほしいと思います。



大縄大会

体育委員会：三浦 昇

2月8日（水）に大縄大会が開催されました。この日まで、各クラス一生懸命練習に取り組んできました。1年生にとっては、初めての大縄。なかなか縄に入れなかった子もいたでしょう。6年生にとっては、最後の大縄大会。クラスが一つになって挑む、最後の体育的行事でした。

本番では、緊張感の中真剣に大縄に取り組む姿がありました。これまでの練習の成果を十分に発揮し、友達と励まし合いながら、よい結果を残すことができたクラスがたくさんありました。中でも2年3組の230回という記録は、北区の2年生の基準記録（200回）を超える大記録となりました。

来年度も子どもたちが一つの目標に向かって一生懸命になれる行事として、大縄大会を続けていきます。

